



日韓共同創作
2月3日 金 19:00
※18:15～18:45
第2回日韓演劇フェスティバルin大阪
オープニングセレモニー
4日 土 14:00/19:00
★アフタートーク有り
5日 日 14:00
会場／一心寺シアター倶楽
前売／3,000円 当日／3,500円

小町風伝
作／太田省吾 演出／李 潤澤(イ・ユンテク)
1977年初演の太田省吾の「小町風伝」は、小劇場演劇の古典の名作と位置付けられています。今回の演出李潤澤氏は生前の太田省吾氏から韓国での上演を要請されたが実現できず、今回その要請に初めてこたえる舞台化に並々ならぬ意欲で望んでいます。
安アパートに住む一人の孤高の老婆が目覚めてからラーメンをする朝食の一時に凝縮された世界、アパートの面々との生活の断面と、戦前の青春の中での生々とした人生、老いた現実の中での女の性、能の「卒塔婆小町」の現代版としての太田ワールドを34年経った今、韓国の演出家李潤澤が現在をどう描くか期待したい。
第2回日韓演劇フェスティバル
関西ブロック企画実行委員長 堀江ひろゆき



文化ゲリラ
李潤澤 イ・ユンテク
詩人・劇作家・演出家・シナリオライター・映画監督・ドラマ脚本家・密陽夏公演祝祭の芸術監督。1986年、演劇団コリベを創団、カマゴル小劇場を立ち上げた。
1990年代、韓国実験演劇の騎手として登場し、地域の演劇人としては最初に、「サンシッキム」(李ヒョンファ作)、「市民K」、「オグ」、「ハバカクシ」等の作品でソウルに進出、韓国演劇界に衝撃を巻き起こした。1994年「請負人」、「旅立つ家族」(金義卿作)で東亜演劇賞及びソウル演劇祭受賞、1995年で東亜演劇大賞、演出賞大山文学賞等を総ナメし、韓国演劇を平定した。その後、伝統に基づいた言葉と身体を用いた舞台表現を通して、観客との疎通を図り続けると同時に、ミュージカルの演出及び制作を通して、創作ミュージカルの可能性を発展させた。演劇活動を行ないながらも、詩や評論、シナリオ、テレビドラマ、新聞コラムを書く文学者でもあり続け、ミュージカル、舞踊、祝祭劇、イベントの演出など、多方面にわたって、最高の演出家として数えられる。前衛的な芸術家でもある。また、演技の訓練法に対しても関心をもち、1995年、「我が劇研究所」を設立、演技訓練を通じて演技論の体系を導き出しており、ドイツや日本などで演技ワークショップを実施し、演劇団コリベのメソッドを発展させた。
1999年からは、重陽演劇村にて、演劇共同体を運営し、約50余名の団員達と共に、演劇制作及び演技訓練に対する実験を続けている。

出演 浅雛 拓 鈴木泰子 堀部由加里
大川こはる 高津征郎 路井恵美子
笠河英雄 竹橋 団 南澤あつ子
河東けい 名取由美子 宮田圭洋
門田 草 服部桃子 宮村信吾
金子順子 保木本佳子 森本竜一
巨 敏治
お問い合わせ
第2回日韓演劇フェスティバル
関西ブロック企画実行委員会
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-1-39-315
スタジオ315内 ☎ 080-4025-2202
http://nikkan-engeki-festival.blogspot.com
チケット予約
日韓演劇フェスティバルin大阪チケットセンター
(ヌーヴォ・スタシオン 劇団しし座)
☎ & ☎ 06-6653-9339
✉ nikkan.engeki.festival@gmail.com



2月8日 水 19:00
会場／ドーンセンター
7階・ホール
前売／3,000円 当日／3,500円
学生／前売・当日ともに2,000円

トンマッコルへ
ようこそ(舞台公演)
作／チャン・ジン 翻訳／洪 明花
演出／東 憲司(劇団棧敷童子)
一枚の写真がある…敵対する兵士達が村の人々と一緒に写っている…なぜみんな笑顔なのか…?
戦争が激化した1950年秋の暮れ…彼らはこの村で出会った…銃を構え、手榴弾を手に握り、脅しあい、悲鳴をあげて…。
古ぼけた写真が鮮やかに紡ぎ出す、トンマッコル村の物語。



東 憲司(劇団棧敷童子)
1999年に「劇団棧敷童子」を旗揚げ。劇団代表であり、劇作、演出、美術を手掛ける。ウェットな作風とダイナミックな大仕掛けの演出が融合した「生」への渴望みなぎる力強い作品は、大変高い評価を受けている。2004年から三年連続で岸田國士戯曲賞最終候補となり、『軍鶏307』(2007年)では鶴屋南北戯曲賞最終候補に選ばれた。劇団棧敷童子公演『海猫町』(2006年)で第61回文化庁芸術祭優秀賞、『海獣』(2009年)で倉林誠一郎賞、『蟹』(2010年)でバックスファンデーション演劇奨励賞を受賞。

出演 松田賢二 深津紀暁 もりちえ
鈴木歩己 井上昌徳 新井結香
Chris Parham 橋本克己 中井理恵
・ 鈴木めぐみ 大手 忍
原口健太郎 外山博美 板垣桃子
池下重大 川原洋子 ・
桑原勝行 山本あさみ 塩野谷正幸

お問い合わせ
日本演出者協会(平日11:00～18:00)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30
芸能花伝舎3階
☎ 03-5909-3074 ☎ 03-5909-3075
✉ j_d_a_info@yahoo.co.jp
http://jda.jp/



合同競演(2本立て) 劇団タルオルム
2月10日 金 18:00
11日 土 祝 14:00/18:00
12日 日 13:00/17:00
会場／ドーンセンター1階
パフォーマンススペース
前売／3,000円 当日／3,500円
中高生・障がい者(介助者1名様無料)
前売／2,000円 当日／2,500円
小学生／前売・当日共に500円

劇団タルオルム
チョゴリの地
作・演出／金 民樹
金 民樹
1974年、大阪生まれ。在日3世。朝鮮大学校政治経済学部哲学科卒業。2003年より、一人芝居『ヨボセヨ?ウリマル』、古典劇『ノルボ伝』、『春香伝』各地で上演。27公演・観客動員4000人を超える。2005年6月、劇団タルオルム旗揚げ、代表を務める。作・演出に『ゆらく』、演出にマダン劇『4.24の風』、『トッキ伝』等がある。Mayの座長金哲義とUnit航路・ハンロ・を結成、精力的に活動している。

旗揚げ公演を目前に控えた2005年の春、私は済州島へ向かい、彼らと出会った。その後、私たちも彼らも玄海灘を超え、大阪、済州島で幾度も語り合った。ノリペハルラサンは毎年4月に、六十数年前に起きた国家権力による島民虐殺・済州島4.3事件をテーマにマダン劇を上演している。済州島の靈魂と共に生きる彼らの凄まじいエネルギーに触れ、いつか彼らと競演できることをずっと夢見てきた。劇団タルオルムはチョゴリに秘められた記憶と誇りを、ノリペハルラサンは失われた村の叫びを、役者の肉体と受け継がれてきたチェジュのリズムでもって、私たちを圧倒する事だろう。

ノリペハルラサン(済州島)
4月儀式 ホンミョ-虚の墓-
(韓国語&字幕)

共同創作 脚色／キンキョンフン 演出／ユンミラン
キンキョンフン(作家・演出家・俳優・詩人)
1962年生まれ。1987年8月 'ノリペハルラサン' 創立会員。1989年 'ノリペハルラサン' 代表歴任。済州作家会協議会員。
詩集に「きれいな子は皆死んで」「運動不足」
「不服従のハルラサン(日本語訳)」などマダン劇台本集「こっそりおいて」、MBCラジオ済州ドラマ10部作「ハルラサン」執筆。
ユンミラン(俳優・演出家)
1991年2月入団。第20回全国民俗劇ハンマダン民族俳優奨励賞受賞。2007、2010年度 'ノリペハルラサン' 代表歴任。現 重要文化財第71号 済州チルモリタン儀式保存会 伝修奨学生。演出作に1999年1月 青少年 劇ヘオルム 創立公演「教室イデア」「マダン劇 セギョンノリ」(04) 四月儀式「百祖一孫」(10)

チョゴリの地
400年前、南江に飛び込んだ一人の女性がいた…
100年前、墨で汚れたチョゴリを洗う一人の女性がいた…
チョゴリを紡ぐ母の姿と、その想いを受け継ぐ子の物語、三部作。
虚の墓
理由もわからず虚殺から逃れた村の人々。洞窟の中で生活を始めるが…1940年代後半から50年代にかけて済州島で起きた実話をもとに描く、血塗られた韓国の闇をマダン劇の手法でもって描く。
出演(チョゴリの地) 出演(4月儀式 ホンミョ-虚の墓-)
金 民樹 李 知子 ユンミラン カンチャンフン
姜 愛淑 全小百合 ユンヒョンスツ キンヒョンチョル
卞 伶奈 浅野崇浩 ヤングンヒョツ チェヒョン
洪 京枝 (松竹芸能) ヒョンエラン チェサンドン
趙 清香 ウスンヒョツ チョンウンシツ
キンジフン
お問い合わせ(ご予約)
✉ talorum2005@yahoo.co.jp
http://www.office-wink.com/tal-orum/



劇団 太陽族
2月11日 土 祝 19:00
12日 日 15:00
会場／ドーンセンター7階・ホール
前売一般／3,000円
前売学生／2,000円(当日要学生証)
前売ペア割引／5,000円(劇団予約・前売のみ)
当日一般／3,300円 当日学生／2,300円
※全席自由・日時指定・整理券番号付

異郷の涙
作・演出／岩崎正裕(劇団 太陽族)
今を生きる人びとの姿を活写し、社会を浮き彫りにする作品を提示してきた劇団 太陽族。今回は、韓国から俳優を招き共同製作に挑みます。
高度経済成長期の日本を生きた韓国人男性の人生を軸に、戦後から現在に至る日本を見つめる物語。
日韓に横たわる歴史認識の差異、領土問題、在日コリアンなどさまざまな問題やわだかまりへのベクトルを持ちながら、戦後生まれの我々の現在を普遍的な人間ドラマとして描きます。



岩崎正裕
1963年三重県鈴鹿市生まれ。
劇作家・演出家。劇団 太陽族代表。現在、アイホール劇場ディレクター、NPO法人大阪現代舞台芸術協会理事長、大阪芸術大学短期大学講師など。
1982年大阪芸術大学舞台芸術学科入学。同年「劇団大阪太陽族」(現：劇団 太陽族)を旗揚げ。1990年から「199Q 太陽族」2001年から現在まで活動を継続。1994年「レ・ポリューション」で第1回OMS戯曲賞佳作、1997年「ここからは遠い国」で第4回OMS戯曲賞大賞を受賞。その他1997年大阪市さくやの花賞、1999年兵庫県芸術奨励賞、2000年大阪府舞台芸術奨励賞などを受賞。代表作はほかに「空の絵の具」「それを夢と知らない」「音楽劇 JAPANESE IDIOT」「越境する蝸牛」「往くも還るも」など。
劇団での活動のほか、各地で戯曲塾講師や演劇ワークショップ講師や、プロデュース公演・市民参加舞台の作・演出を手掛け、舞台芸術普及活動を広く展開している。

出演 森本研典 中西由宇佳
南 勝 韓 寿恵
岸部孝子 米田 嶺
篠原裕紀子 キム・ジュンテ
前田有香子 チョン・ウォンテ
佐々木淳子 キリル
お問い合わせ(ご予約)
劇団 太陽族
☎ & ☎ 06-4801-4724
✉ taiyozoku@osaka.email.ne.jp
http://www.ne.jp/asahi/gekidan/taiyozoku/
助成
芸術文化振興基金
主催
劇団 太陽族



朗読劇団 朗読GEN
秘密の花園
原作／金 倫永 翻訳／西村麻里・金 京子
上演台本・構成・演出／秋山太加
朗読GENが初めて取り組み、韓国現代小説。物語は1997年、大統領選挙を背景に始まる。小学生のカン チョンアにとって叔母は憧れの人。でもその叔母は80年代の学生運動に関わって投獄されたことがあり、今は死んだように毎日を送っている。叔母とジョンアは時々、二人の秘密の花園に出かける。ある日、叔母の枯渇した心の花園につぼみが芽生えはじめた。果たして、叔母は新しい未来に向かって生きていくことができるのか…。お互いの思いのちぐはくさがおかしい、けれどやっぱり思いあっている、そんな家族の姿が、シニカルな中にも、ユーモアに富んだ文章で描かれたこの小説の魅力を朗読劇でお届けします。
韓国文学リーディング(日本語)
2月13日 日 19:00 朗読GEN
14日 水 19:00 泉南マダン
会場／一心寺シアター倶楽
前売／1,500円 当日／1,800円

朗読劇団 朗読GEN
秘密の花園
原作／金 倫永 翻訳／西村麻里・金 京子
上演台本・構成・演出／秋山太加
朗読GENが初めて取り組み、韓国現代小説。物語は1997年、大統領選挙を背景に始まる。小学生のカン チョンアにとって叔母は憧れの人。でもその叔母は80年代の学生運動に関わって投獄されたことがあり、今は死んだように毎日を送っている。叔母とジョンアは時々、二人の秘密の花園に出かける。ある日、叔母の枯渇した心の花園につぼみが芽生えはじめた。果たして、叔母は新しい未来に向かって生きていくことができるのか…。お互いの思いのちぐはくさがおかしい、けれどやっぱり思いあっている、そんな家族の姿が、シニカルな中にも、ユーモアに富んだ文章で描かれたこの小説の魅力を朗読劇でお届けします。

泉南マダン
ユン・ドンジュ
詩人 尹東柱を詩う
—「日帝残滓清算」をあらためて—

原作／尹東柱 翻訳／金時鐘・石捷間 他
構成・演出／石捷間(ソク・チョブカン)
「日帝残滓清算」という、日本では生硬なる閉ざされた左翼集団の政治的専門用語のように使われているが、韓国ではごくあたり前に使われている言葉です。そして韓国でも日本でも民衆は未だに「日帝残滓」から解放されていません。
この言葉をよりどころに、日本を見なおしてみると、「[本名]」呼び名告る在日朝鮮人教育・差別抑圧を超えて共生社会を築く人権運動、朝鮮語・手話・朝鮮の芸能の復権と流布、泉南アスベスト国賠訴訟支援など、様々な課題が浮き上がってきます。
詩人・尹東柱を詩いながら日韓の東アジアの今をあらためて考え直したいと思います。

秋山太加
1990年に朗読を始める。03年に朗読劇団 朗読GEN結成。代表をつとめる。構成、演出を担当。
出演(秘密の花園)
秋山太加 田中章恵 太田淑子 福岡左知子
友情出演 楠田獅子丸(劇団猫の森)
出演(詩人 尹東柱を詩う)
泉南マダン(韓国芸能演奏グループ:代表・石井宏)
シェフ'K(手話コーラスグループ:代表・川畑貴子)
お問い合わせ(ご予約)
朗読劇団 朗読GEN
☎ & ☎ 0742-48-8688
✉ roudokugen@yahoo.co.jp
http://r-gen.jimdo.com
泉南マダン事務局
☎ & ☎ 0724-83-2038
☎ 090-6054-5500



May
2月17日 金 19:00 「風の市」
18日 土 祝 14:00 「風の市」
19:00 「チャンソ」
19日 日 13:00 「チャンソ」
17:00 「チャンソ」
会場／一心寺シアター倶楽
前売／2,500円 当日／2,800円
シニア(65歳以上)割引・中高生割引(要学生証)
前売・当日共／1,800円
2作品通し券(日時指定・要予約)／4,000円

風の市 作・演出／金 哲義
1960年代後半、大阪。
猪飼野と呼ばれた町に住む7人兄妹の新井家に突然やってきた「兄さん」…。
彼の巻き起こす突風の向こうには、兄妹達の知らない世界、知らない故郷があった。
ふらりとやってきた兄さんが、ふわりと海へ還るまでの、瞬く間の7年間の物語。
金 哲義
1971年大阪生まれ。1993年「劇団メイ」結成。2002年「May」と改め、ライブイベントの他、演劇以外の活動も行う。結成以来殆どの作品を作演出。近年は己のルーツを全面に打ち出し好評を得る。2007年/2009年アリスフェスティバルにてAlice賞を受賞。2010年 演出者協会主催 若手演出家コンクールにて最優秀賞と観客賞を受賞。2011年 應典院芸術祭 space×drama2011にて優秀劇団に選出される。劇団タルオルム代表金民樹とUnit航路・ハンロ・を結成、主宰。

チャンソ 作・演出／金 哲義
1989年の大阪朝鮮高級学校。主人公チャンソは民族と大阪朝高の伝説の皮をまとい毎日を過ごしていた。強くなければ居場所を確保できない場所で、ある日一人の日本学校の生徒に打ちめられる。一方、チャンソがひそかに想いを寄せる、カヤグムを弾く少女ソナは、所属する民族器楽部の廃部が迫る中で、時代と伝統に場所を捜し求める。次第に場所(チャンソ)を失っていくチャンソとソナは自分が越えるべきものは何なのかを、その答を捜し求める。
お問い合わせ(ご予約)
http://may1993.syncl.jp/
✉ may-1993@abox.so-net.ne.jp
☎ 06-6976-6592

出演(風の市) 柴崎辰治・木場夕子
田中志保・斉藤友恵
宇仁菅 綾・金 哲義
ふくだひと美(劇団Fジ)
中野 千子
植村好宏(PEOPLE PURPLE)
有馬ハル(オリゴ党)
岩本ゆかり(ババロワズ)
浅野崇浩(松竹芸能)
木下聖浩(バンタムクラス
ステージ)
上田裕之(イズム)
林寛子
出演(チャンソ) 柴崎辰治・木場夕子
田中志保・斉藤友恵
倉畑和之
金恵玲(劇団アラサムセ)
野村佑志(オパンボン創造社)
片岡雅
有馬ハル(オリゴ党)
木下聖浩(バンタムクラス)
斉藤清士郎(劇団猫の森)
石川晃
浅野崇浩(松竹芸能)
ゴンダウイチロー
上田裕之(イズム)
市川亨
口枷寧子(ストロベリー
ソングオーケストラ)
林寛子
姜愛淑(劇団タルオルム)
卞伶奈(劇団タルオルム)